

# School Life



## ● 青葉区明るい選挙推進作文コンクール2023

11月28日、青葉区役所にて、「青葉区明るい選挙推進作文コンクール2023」の表彰式が行われました。応募総数100作品を超える中から、3年3組 嶋津 遼さんの作文が「青葉区選挙管理委員会委員長賞」に、3年3組 鈴木 晴香さんの作文が「青葉区長賞」にそれぞれ選ばれました。選挙権の年齢が18歳に引き下げられたこともあり、今後の選挙の在り方や向き合い方について書かれた作文が高く評価されました。

青葉区明るい選挙推進  
作文コンクール 2023  
表 彰 式

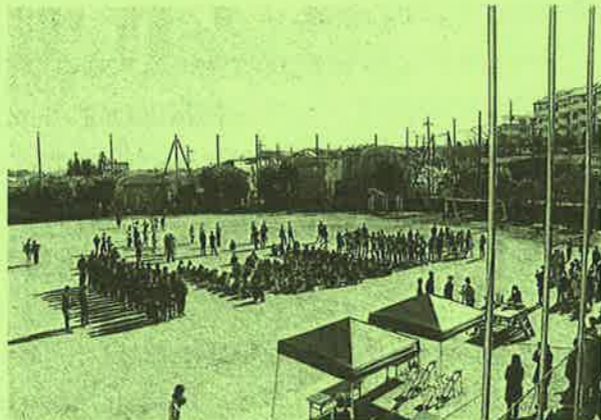
## ● ふるさとを駆け抜けろ！ ふるさとマラソン

12月3日、暖かい日差しが照らす鴨志田町で、ふるさとマラソンが実施されました。今回のふるさとマラソンには、地域の小中学生や住民の方など、大勢のランナーが会場に集まり、ふるさとを駆け抜けました。鴨志田中学校からは、運動部の生徒を中心に多くの生徒が会場に集まりました。それぞれのペースで、完走を目指して走る姿が見られました。たくさんの声援をありがとうございました。



↑マラソン日和の青空の下、参加者全員で元気に準備体操をしている様子です！日頃の体育の授業や部活動で培った体力を存分に発揮し、一生懸命に走っていました。

大勢のランナーが走ったふるさとマラソンの閉会式では、各部門の1位から3位までのランナーが表彰されました。



## ● 鴨中米 今年もできました

12月14日、鴨志田中学校にて収穫祭が行われました。稲作実行委員会の生徒たちが中心となって約1年間かけて育てた“鴨中米”が収穫できたことを、全校生徒で祝うことができました。今回はインフルエンザの流行に伴い、各教室からオンラインで行いました。1人1合ずつ配られた鴨中米を、ぜひご家庭で味わっていただくと幸いです。改めて食へのありがたみを感じられる体験となりました。稲作実行委員会の生徒たちは、ほとんどが手作業での貴重な体験を振り返り、指導をくださった木村さんへの感謝の言葉を話していました。



4月25日の稲作伝授式から始まり、5月に田起こし&代掻きを行いました。6月の蒸し暑い日には、自分たちの手で除草作業をし、10月に稲刈りを行いました。計6回の手作業をして遂に、待ちに待った鴨中米が完成しました。稲作実行委員会のみなさん、お疲れ様でした！



## PTA よいお知らせ

- ★標準服、体操服、ジャージのリサイクル品を募集しています。受験シーズンに向けて、特に標準服の大きいサイズが不足しています！ご自宅に眠っている標準服などがありましたら、学校または鴨志田郵便局へお持ちください。
- ★PTA 委員意向調査票のご提出ありがとうございました。こちらを基に委員決めをさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。



年末の名言

「人間、志を立てるのに遅すぎることではない」 By スタンリーゴールドウィン

バスケットボール選手田臥氏の「NEVER TOO LATE」と同じような意味かもしれません。ある一つの結果が出て、それが自分の意にそぐわなくても、そこからまた新たな夢や希望を持つことは可能です。

「あきらめない心」、そんな強い気持ちをもちたいものです。

<保護者のみなさま…三者面談ありがとうございました。>

12月6日(水)からの4日間、三者面談が行われました。保護者の皆さまには寒い中、ご都合をつけていただきありがとうございました。ご家庭でのお子さんの様子や、学校行事や学習活動へ取り組む様子、また進路のことなど、様々なことを共有させていただきました。さらなる子どもたちの成長を願っております。

<1年間のまとめ…。>

連絡票が配布されます。自分の「頑張り」がしっかり表れた人、「頑張り」がなかなか表れなかった人、それぞれだと思います。努力の成果はすぐに表れる人とそうでない人がいます。努力の成果が表れてなかった人は、進級、進学する前に課題を解決する必要がありますが、自分が努力にかけた時間は決して無駄にはなりません。しっかりと向き合い、さらなる努力を積み重ねましょう。

連絡票は学習の取組が数字(評定)に表れます。数字(評定)で表されることについては全員共通しています。そして、もう一つの共通点は、あくまでもこの数字は学習面における自己理解のためであり、個人の人格や価値を決めるための資料ではないという事です。では、個々が違う点とはどんなところにあるのでしょうか。それは学習面において、数字(評定)や観点から読みとれる内容が違うということです。今年の自分の授業への取組方を振り返りながら連絡票にじっくり目を通せば、自分が不得意な部分や得意な部分を観点別評価等から読みとることができます。3学期に向けて何をどのように改善、そしてどこを伸ばしていくべきか考えましょう。

何をするにも遅すぎることはありません。

<今年もありがとうございました。>

さて、今年も残すところあとわずかになりました。「とにかく早い一年間」をしみじみと実感しております。

本年もありがとうございました。冬の夜空は空気が澄み、わずか1等星の「昴(すばる)」も今年はなぜかさんざめきながら一際輝いて見えます。世間では阪神タイガースが「(ARE)アレ」に湧き、子どもたちの間では「ひき肉です」が口ずさまれ、どんなに愛情をたっぷりのお料理を作っても熱すぎれば「急に冷めちゃう」蛙化現象に、グリム童話の再読を促されました。そして、大リーグのヒーロー0(オー)選手の活躍が大きなニュースとなっております。0選手はK監督から強い心を教わり、目標達成へのステップを着々と上り続けています。

さあ、令和6年を迎えます。皆さんはどんな目標をもちますか?「最後に達成・成功すれば、挫折はいずれプロセスに変わる。だからやり続ける。」かつてACミランで背番号10をつけた人が言った言葉です。達成・成功の概念は様々だと思います。しかし、家族や友人など、誰かを思う気持ちや応援する気持ち、そして強く夢や希望をもつことこそが達成・成功にむけた努力を支える力になると信じています。

何をするにも(いつから何を始めても)遅すぎることではないのです。

新しき年が、皆さんの勇気、熱気、活気、やる気、本気を沸騰化できるよう、職員一同頑張っていきたいと思っております。本年もありがとうございました。